

# おれとカネやん

完全版

原作 梶原一騎  
漫画 古城武司

死闘の章  
③





ピッチャー  
勝三四郎  
ますます  
さえわたる  
豪速球!!



やりおる  
やりおる  
ほんま  
たいした  
少年投手や

またひとつ  
三振追加!!

アウト!  
バッター

ストロオ!

# 登場人物紹介

勝三四郎



金田 正一

(カネやん)



三四郎の両親



玉置部長



団 善平



赤 沢



チビ連



『おれとカネやん』第3巻 初出  
「週刊少年キング」  
1974年2・3～19号



問題は  
そのあと  
アドバールン  
みたいに  
アガリッ  
ばなしでは  
いかん

この  
勝ちゆう男  
よう  
練習してるでえ  
すなわち  
アガルときは  
アガレ  
アガッてよし  
かまわん!!



しかしですね  
金田さん  
わたしや  
ずっとこの  
放送を聞いて  
るんですが

勝って  
ビツチャーは  
タマは  
速くても  
キモッタマが  
小さいみたい  
ですよ

ほう  
なんでや  
……!?



それが  
試合開始の頃は  
いまとは  
別人みたいに  
ボカスカ  
打たれ

やっとこさ  
味方の  
好守に  
すぐわれ  
ましてね

こりや  
あきらかに  
アガッてた  
証拠  
でしょ!?



そのあとが  
男一匹  
天下分け目  
よ!

わ  
わかり  
ました  
金田さん

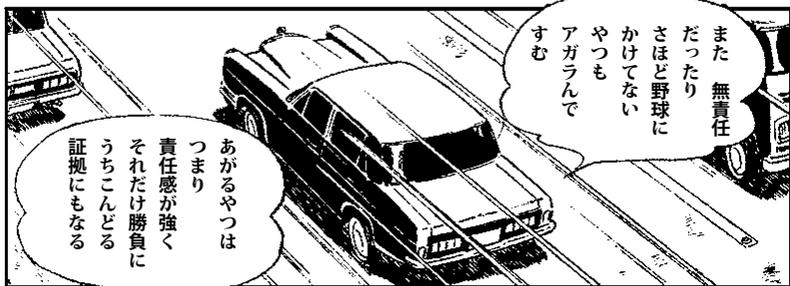
と  
どこかで  
どつくに  
後楽園球場に  
ついてます  
けど……



なるほど  
たしかに  
アガッてたん  
やろ  
そやけどな  
アガルっちゅう  
ことかならずしも  
キモッタマが小さ  
いと限らへんで

はあ……

ぎやくに  
あがらん  
からって  
度胸がある  
とも  
いえへん  
鈍感ちゅう  
ことも  
あるわ  
ははは……



また 無責任  
だったたり  
さほど野球に  
かけてない  
やつも  
アガラんで  
すむ

あがるやつは  
つまり  
責任感が強く  
それだけ勝負に  
うちこんどる  
証拠にもなる

まさか  
あの中学生投手が  
かつて  
全盛時代の金田が  
黄金ルーキー  
長嶋茂雄を  
4打席4三振に  
うちとつた日に  
オギャア…と生まれ  
その数字と  
金田自身の  
背番号34にちなんで  
名づけられたとは…

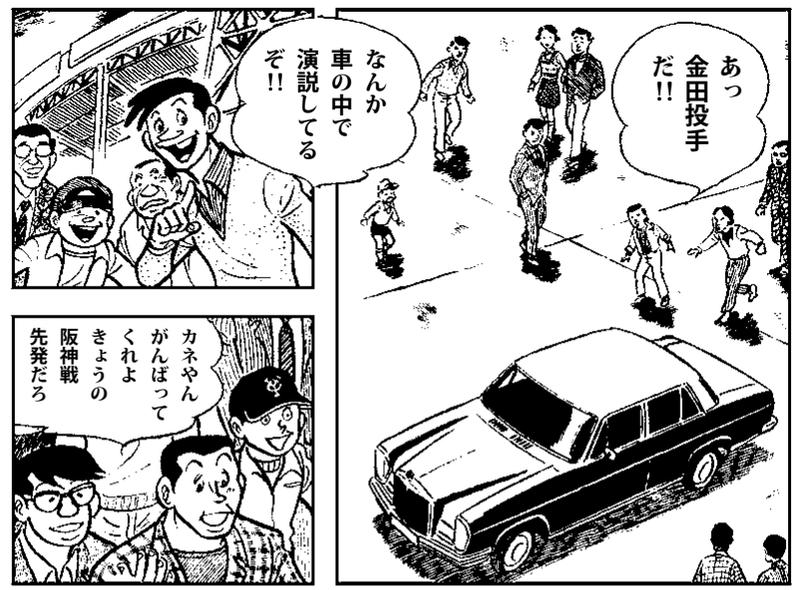


『名前も  
いいでえ！』  
そういった  
金田正一  
しかし夢にも  
しらない……



全盛時代と  
いえば  
威勢のよさでは  
昔とかわらずも  
さしもの  
世紀の鉄腕  
金田もトシには  
勝てず  
引退の日が  
迫っていた……

サイン！  
サイン  
してえ！！



カネやん  
がんばって  
くれよ  
きょうの  
阪神戦  
先発だろ



がんばれや  
勝三四郎  
ちゅう  
ぼうず  
名前も  
いいでえ！



わしも  
負けずに  
ごっそり  
阪神さんから  
三振を  
いたたく  
さかいな

